

日本の危機に備えよ

北朝鮮の核、国民保護、法整備と憲法

北朝鮮が核・ミサイル開発を進め、地域の緊張が高まっています。北朝鮮による核攻撃の脅威を排したい米国は、軍事行動も選択肢としており、米朝対立が朝鮮半島有事を招く可能性も否定できません。この危機に私たちはどう向き合うべきでしょうか。シンポジウムでは、北朝鮮の核・ミサイル開発の現状、米朝衝突の可能性、日米韓の役割分担、在韓邦人退避、日本が攻撃された場合の国民保護、法整備や憲法改正のあり方などの課題について、与野党や実務のエキスパート達が多角的に議論します。

日時

2018年 **3月6日** **火** 13:30~16:30
(開場 13:00)

会場

日本プレスセンタービル 10階ホール
(東京メトロ霞ヶ関駅 C3 出口より徒歩 2分)

定員

200名 ※事前に当シンポジウム Web サイトより
ご登録をお願いいたします。

パネリスト

- 田中 明彦 政策研究大学院大学 学長 (前 東京大学副学長)
- 中谷 元 自由民主党 安全保障調査会長 (元 防衛大臣)
- 福山 哲郎 立憲民主党 幹事長
- 玉木 雄一郎 希望の党 代表
- 久保 信保 自治体衛星通信機構 理事長 (元 消防庁長官)
- 廣中 雅之 伊藤忠商事 顧問 (元 空将・航空教育集団司令官)

モデレーター

勝股 秀通 日本大学危機管理学部 教授

総合司会

川戸 恵子 TBS シニアコメンテーター

プログラム

- 13:00 受付開始
- 13:30 パネルディスカッション第1部
- 14:50 休憩 ※質問票を回収します
- 15:10 パネルディスカッション第2部
- 16:30 閉会

入場無料

※Web サイトにて
事前登録をお願いします

参加登録はこちらから ▶ <http://anpo.netj.or.jp/>

安全保障シンポジウム

